

【参考資料】

○「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」について	1
○「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」開催経緯	2
○ アラハタ世代と考える恋愛、結婚、仕事、出産、子育て ～「学生100人との対話」～	4
○「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」地方懇談	7
○「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」緊急アピール	16
○「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」立ち上げにあたり	17

「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」について

1. 趣旨

○新しい「少子化社会対策大綱」の作成に資するために、少子化対策担当大臣の下に「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」を開催し、有識者及び国民各層の意見を聴取する。

2. 検討方法

○子育て世代の当事者の視点、利用者の視点から、既存の枠にとらわれることなく議論することとし、各回のテーマに応じた有識者（現場の当事者・学識経験者・関係団体等）を招き、ヒアリング及び意見交換を行う。

3. メンバー

- ・安藤 哲也 NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事
- ・勝間 和代 経済評論家
- ・松田 茂樹 第一生命経済研究所主任研究員
- ・宮島 香澄 日本テレビ報道局解説委員
- ・佐藤 博樹 東京大学社会科学研究所教授
(少子化社会対策推進点検・評価検討会議座長)

※関係省庁からもオブザーバー参加を求める。

「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」開催経緯

○第1回（平成21年2月10日）

【テーマ】恋愛・結婚

【有識者等】

三浦 展（カルチャースタディーズ研究所）

山田 昌弘（中央大学文学部教授）

金子 隆一（国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部長）

○第2回（平成21年2月24日）

【テーマ】若者の雇用と自立支援

【有識者等】

宮本 みち子（放送大学教授）

工藤 啓（NPO法人「育て上げ」ネット理事長）

○第3回（平成21年3月9日）

【テーマ】不妊治療

【有識者等】

齊藤 英和（国立成育医療センター周産期診療部不妊診療科医長）

鈴木 良子（フィンレージの会）

○第4回（平成21年3月24日）

【テーマ】ワーク・ライフ・バランス／働き方／父親の子育て支援

【有識者等】

川本 裕康（経団連常務理事）

輪島 忍（経団連労政第二本部 労働基準グループ長

兼 安全・衛生グループ長）

古賀 伸明（連合事務局長）

○第5回（平成21年4月7日）

【テーマ】保育・幼児教育

【有識者等】

無藤 隆（白梅学園大学教授）

吉田 正幸（有限会社遊育代表取締役）

山口 洋（株式会社JPホールディングス代表取締役）

○第6回（平成21年4月21日）

【テーマ】ひとり親家庭と子どもの貧困

【有識者等】

阿部 彩（国立社会保障・人口問題研究所国際関係部第2室長）

吉村 マサ子（財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会会長）

赤石 千衣子（NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事）

新川 てるえ（NPO法人Wink 理事長）

向井 通江（ハンド・イン・ハンドの会主任研究員）

○第7回（平成21年5月12日）

【テーマ】学校教育

【有識者等】

若月 秀夫（東京都品川区教育委員会教育長）

小林 雅之（東京大学大学総合教育研究センター教授）

○第8回（平成21年5月26日）

【テーマ】家庭・地域・まちづくり

【有識者等】

木下 勇（千葉大学大学院教授）

大日向 雅美（恵泉女学園大学大学院教授）

和田 雄志（財団法人未来工学研究所理事）

○第9回（平成21年6月9日）

【テーマ】小児医療・周産期医療・病児保育

提言に向けた議論

【有識者等】

高橋 夏子（「知ろう！小児医療 守ろう！子ども達」の会理事）

岡井 崇（昭和大学医学部産婦人科学教室主任教授）

駒崎 弘樹（NPO法人フローレンス代表理事）

○第10回（平成21年6月23日）

【テーマ】ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム「提言」とりまとめ

【その他】

○アラハタ世代と考える恋愛、結婚、仕事、出産、子育て～「学生100人との対話」～
（平成21年5月20日（水）：明治大学 駿河台キャンパス）

○地方懇談

・福井県（平成21年5月27日（水））、宮崎県（平成21年6月1日（月））

アラハタ世代と考える恋愛、結婚、仕事、出産、子育て
～「学生100人との対話」～
〈ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム〉

日時：平成21年5月20日（水） 15:00～16:30

会場：明治大学 アカデミーコモン ビクトリーフロア一暁の鐘

登壇者：ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム

安藤 哲也 NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事
勝間 和代 経済評論家
松田 茂樹 第一生命経済研究所ライフデザイン研究本部主任研究員
宮島 香澄 日本テレビ報道局解説委員
佐藤 博樹 東京大学社会科学研究所教授
(少子化社会対策推進点検・評価検討会議座長)

参加者：113人（男性40人、女性73人）

■オープニング

- ・ビデオメッセージ 小淵優子 内閣府特命担当大臣（少子化対策）
- ・「学生100人との対話」について 松田茂樹

■意見交換・討論

- ・テーマ1 恋愛、結婚、出産
- ・テーマ2 仕事と子育て・生活
- ・テーマ3 少子化の原因と今後の対策

■参加者からの質問コーナー&まとめ

学生からの声

〈テーマ1 恋愛、結婚、出産〉

- ★結婚したいと思わない、子どもは欲しくない。子どもをつくったり、結婚をしたりしてしまうと、自由な時間が減るイメージがある。(男子)
- ★特に結婚したいとは思わない。特に必要性を感じない。(女子)
- ★現在、一人の息子がいる。すべての男性はパパに、すべての女性はママになるべきだと思う。子どもと過ごしていると楽しいし、成長できると実感する。(男子)
- ★年齢的にも結婚したいという希望があるが、結婚が就職活動の障害になってしまうという心配から踏み出せない。(女子)
- ★結婚と出産が今はイコールではない社会になってきていると思う。事実婚といった形や養子として自分の所に引き取るという形でも僕は全然ありだと思う。(男子)



<テーマ2 仕事と子育て・生活>

- ★家に帰っても、親がいないというのは、いい気はしないと思うので、お父さんかお母さん、どちらかは、仕事よりも家庭に専念して欲しい。(男子)
- ★仕事と子育てと生活を全部、完璧にやっていくということは一人の人間では不可能なので、それを分担し合ってやっていくのが夫婦の意味だと思う。(男子)
- ★現在、1才の息子がいる。サポートがない限り、子育てと生活を両立していくということが不可能なので、正規雇用のままで働く時間を短くして、普通に子育てに参加できるような社会を築いていくことが大切だと日々実感している。(女子)
- ★女性のほうが仕事とか子育てとかの責任感が強く、いろいろな分野にいっぱい心配事を抱えているのではないかなと思う。(女子)
- ★教師になりたいが、教師はほかの子どもも育てなければいけなくて、自分の子と向き合う時間ができるかという不安がある。(女子)
- ★一度、非正規になってしまうと、給料の問題で、子どもを持たないとか、結婚できないのではないかなという不安がある。(男子)
- ★子どもを預けるときに、保育園の施設がまず足りないという不安がある。また、非認可の所であっても、こういうふうな教育をしてくださいといった基準をある程度設けて欲しい。(女子)

<テーマ3 少子化の原因と今後の対策>

- ★日本人の働き方は異常だと思う。特に、いわゆる、正社員の整理解雇4条件というものが日本の労働事情というものを硬直化させていると思う。(男子)
- ★乳幼児と触れ合う機会が増えるということがあれば、生みたい人も増えるのではないかなと思う。今の少子化対策というのは、生みたい人が生めるような環境整備が中心だが、生みたい人の絶対数を増やしていくことも今後大切だと思う。(女子)
- ★有休も取れて、労働時間も短くする中でちゃんとした給料ももらえる企業はほとんどないので、企業への働きかけがもっと必要だと思う。(女子)
- ★母親がどのように子どもを育て、それから、肌のぬくもりを感じ、喜びを感じているのかということを感じる機会がなかなかないのではないかなと思う。(女子)

押しボタン式アンケート結果

